

## こんなところで地震が起きたら?(屋内編)

### エレベーターでは

- 最近のエレベーターは地震の揺れを感知すると自動的に最寄りの階に停止するが、自動で停止しない場合は、すべての階のボタンを押し、停止した階で外に出る。閉じ込められた場合は、非常ボタンやインターホンで外部と連絡を取り、救出を待つ。



### デパート・スーパーでは

- 商品の落下やショーケースの転倒、ガラスの破片に注意する。手荷物で頭を守る。
- あわてて出口に向かわない。大規模店舗などは急に倒壊しないため、店員の指示に従って行動する。



### 学校では

- 先生や校内放送の指示に従う。
- 教室にいるときは、すぐ机の下にもぐり、机の脚をしっかりと持つ。
- 本棚や窓から離れ、安全な場所に移動する。屋外にいるときは、そのまま屋外にとどまる。



### 勤務先では

- 窓際やロッカー、資料棚などから離れて、机の下などに入り身を守る。
- 揺れがおさまったらガス給湯器などのスイッチを切るなど、火元を確認する。



## こんなところで地震が起きたら?(屋外編)

### 車の運転中は

- 徐々にスピードを落とし、道路の左側に停止してエンジンを切る。
- 揺れがおさまるまでは車外に出ず、カーラジオなどで情報を確認する。
- 車を置いて避難する場合は、道路外の場所へ移動する。
- やむを得ず道路上に置いて車を離れるときは貴重品を持ち、キーは置いたままでロックしない。



### 海岸・がけ付近では

- 海岸にいたら避難指示などの有無にかかわらず直ちに高台や近隣の高い建物、指定の緊急避難場所へ逃げる。
- がけ付近にいたら、崩れる危険性のある場所からすぐに離れる。



## 防災・減災キーワード

### 夜間に避難する場合

見通しが悪くなる夜間の避難には危険が伴います。やむを得ず夜間に避難する場合は、できるだけ単独行動を避け、家族や隣近所の人と一緒に行動しましょう。停電の際は、懐中電灯を使って周囲の安全を確認しながら慎重に避難します。また、転倒や転落の危険性があるので、水路や川沿いの道をはじめ、ブロック塀などがある狭い道は避け、広い道を選ぶことも大切です。

### 【夜間の避難に備えて】

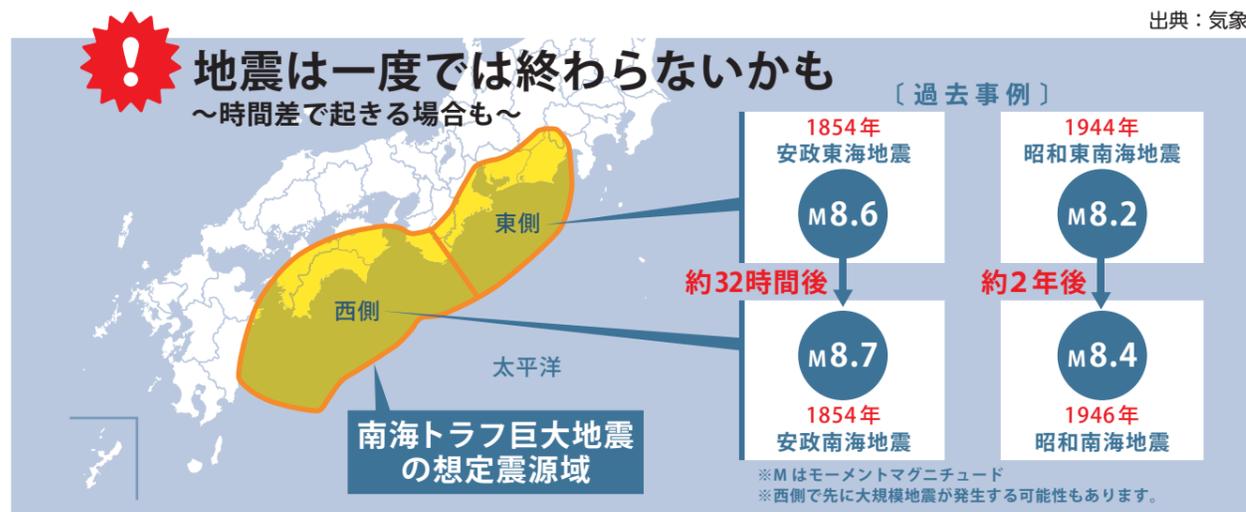
- 緊急避難場所等までのルートを確認しておく
- 高齢者だけの世帯など避難に支援が必要な場合は、事前に誰にサポートしてもらうか決めておく
- 居間や寝室など家の各所の取り出しやすい場所に懐中電灯などの明かりを用意しておく
- 照明はライト付きヘルメットや首にかけられるライトなど、手が空くものがよい



## 南海トラフ地震臨時情報を知っていますか

南海トラフでは想定震源域の東側と西側で、時間差で大規模地震が発生する事例があります。

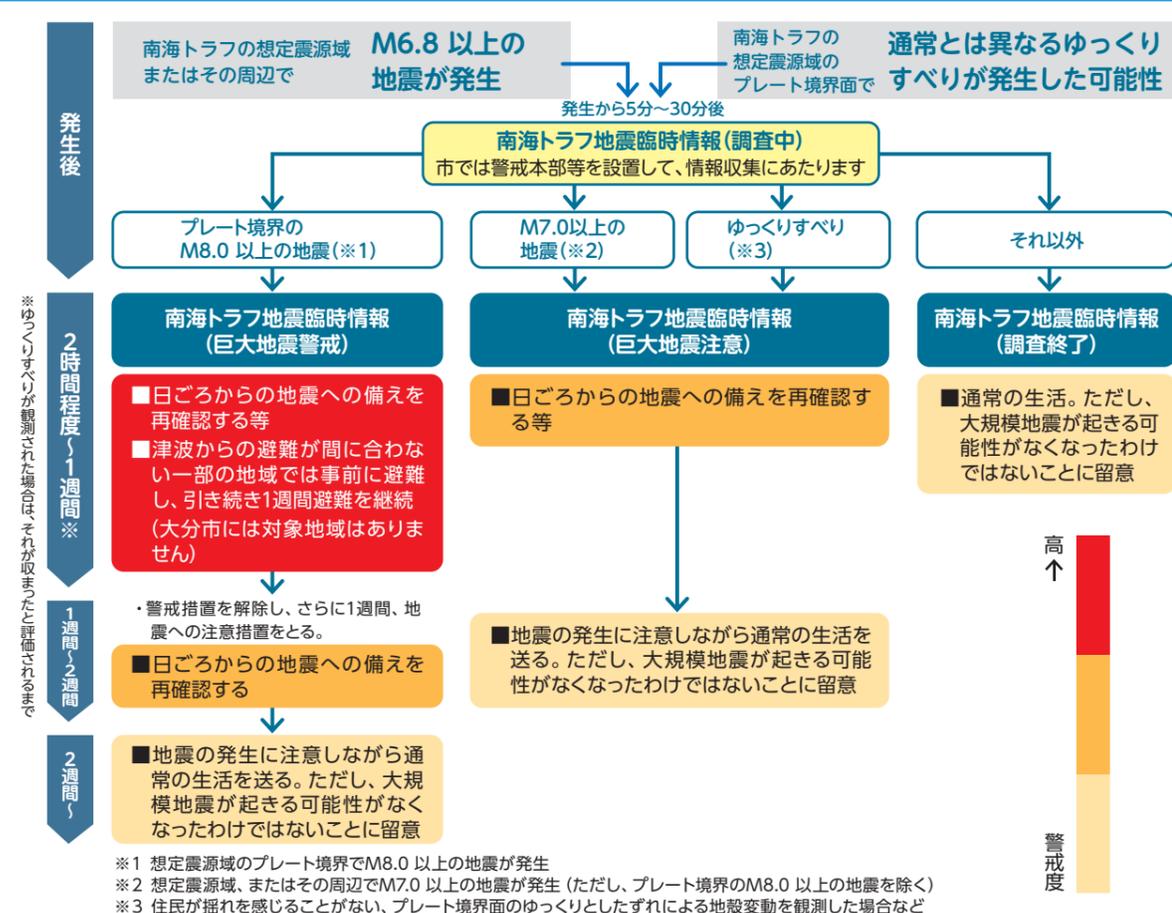
出典：気象庁



## 時間差で発生する巨大地震に備えましょう

- 南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合に気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。
- 政府や地方公共団体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとります。

## 南海トラフの東側で先に地震が発生した場合などの防災対応の流れ



※1 想定震源域のプレート境界でM8.0以上の地震が発生  
 ※2 想定震源域、またはその周辺でM7.0以上の地震が発生(ただし、プレート境界のM8.0以上の地震を除く)  
 ※3 住民が揺れを感じることがない、プレート境界面のゆっくりとしたずれによる地殻変動を観測した場合など